

# 胃癌研究会の年譜

大森幸夫先生(池田ワコー病院)の資料提供による。

回	年月日	当番世話人	開催地	主題
会長：久留 勝 (第1回～第14回)				
1	1962.(昭 37) 4.12.	久留 勝 (国立がんセンター)	東京都	<b>Business Meeting ;</b> この会合をもって胃癌研究会は正式に発足した。会長は久留 勝先生。また、久留会長より本研究会は学会とせず、研究会としての形態を将来ともに維持するという提案あり、了承された。また、発足時の世話人をもって役員会を構成し、研究会の運営と胃癌取扱い規約の検討にあたることになった。
2	1962.(昭 37) 11.12.	陣内伝之助 (岡山大学第一外科)	岡山市	1. 粘膜癌 2. 胃癌の再発
3	1963.(昭 38) 6.18.	堺 哲郎 (新潟大学外科)	新潟市	1. 多発性胃癌の問題点 2. 初期胃癌の概念(病理ならびに臨床)
4	1964.(昭 39) 2.22.	村上忠重 (昭和医科大学外科)	東京都	1. 噴門癌 2. クルーケンベルグ腫瘍 3. パンチカード
5	1964.(昭 39) 9.26.	梶谷 鏝 (癌研究会付属病院外科)	東京都	1. 胃液 2. 卵巣転移 3. 手術適応
6	1965.(昭 40) 5.29.	榎 哲夫 (東北大学第1外科)	仙台市	1. 胃肉腫 2. 珍しい経過をたどった胃癌 3. 胃癌の術前照射の諸問題
7	1966.(昭 41) 6. 4.	綾部正大 (鳥取大学第1外科)	米子市	1. 胃潰瘍癌の再検討 2. 胃癌取扱い規約の分類のデータのうち下記事項の集計 a)ステージ分類と遠隔成績 <b>absolute curative and relative curative resection の5年生存率の比較</b> b)胃癌主病巣の病理組織学的分類と予後の検討 3. 胃癌の疫学的諸問題、その他 付)胃肉腫例の組織学的検討成績の報告(赤崎兼義)
8	1967.(昭 42) 2.18.	中山恒明 (東京女子医科大学消化器病センター)	東京都	0. 前回までの総括報告 1. 早期胃癌特に胃隆起性病変について 2. 胃癌の遠隔成績向上のための合併療法について
9	1967.(昭 42) 7.12～13.	卜部美代志 (金沢大学第1外科)	金沢市	1. いわゆる早期胃癌…再び隆起性病変をめぐって 2. 胃癌における S-factor(漿膜浸潤の程度)の問題
10	1968.(昭 43) 2.24.	田中早苗 (岡山大学第1外科)	岡山市	1. CAT、SAT 分類における(一)か否かの境界領域 2. 胃癌陥凹型病変について a)病態、b)診断、c)予後

回	年月日	当番世話人	開催地	主題
11	1968.(昭 43) 8.28.	山形敏一 (東北大学第 3 内科)	仙台市	1. 胃潰瘍癌 2. 少胃癌 a)病態、b)病理、c)予後
12	1969.(昭 44) 2. 1.	井口 潔 (九州大学第 2 外科)	福岡市	1. 深部浸潤型小胃癌について 2. 胃癌ステージ分類の検討
13	1969.(昭 44) 8.23.	長与健夫 (愛知がんセンター 病理)	名古屋市	1. 噴門部癌について a)病理学的特性 b)診断上の問題点 c)手術上の問題点 2. 早期胃癌切除後再発例の検討 a)定義および統計 b)診断および外科治療 c)症例および病理
14	1970.(昭 45) 1.31.	神前五郎 (大阪府立成人病セ ンター)	大阪市	1. 胃切除時進行癌で術前 1 年以上経過を観察し た症例の検討 2. 進行胃癌、大胃癌の術後 5 年生存例について a)StageIV 症例の検討 b)大胃癌の検討
会長：梶谷 鏝 (第 15 回～第 46 回)				
15	1970.(昭 45) 9.19.	増田正典 (京都府立医科大学 第 3 内科)	京都市	1. スキルスの診断、病理、経過、発生について 2. 発生部位による胃癌の特殊組織型・転移形 成・予後について
16	1971.(昭 46) 1.30.	佐藤 浩 (千葉大学第 2 外科)	千葉市	1. 早期胃癌診断確定までの諸問題 2. 進行胃癌に対する全身状態よりみた手術適応
17	1971.(昭 46) 7.17.	太田邦夫 (東京大学病理)	東京都	1. 異型上皮増殖の本態及び自然史に関する臨床 的組織学問題点 2. 組織形態と予後の相関についての問題点
18	1972.(昭 47) 2. 7.	石川浩一 (東京大学第 1 外科)	東京都	1. 胃癌の再発 2. 胃における重複癌
19	1972.(昭 47)	佐藤八郎 (鹿児島大学第 2 内 科)	鹿児島	1. 胃癌の経過 2. 腸上皮化生の本態と臨床的組織学的問題点
20	1973.(昭 48) 2.26.	伊藤一二 (国立がんセンター 外科)	東京都	1. 再発癌の治療 2. 胃癌の病態病理
21	1973.(昭 48) 8. 4.	菅野晴夫 (癌研究会癌研究所 病理)	東京都	1. a)胃癌診断の困難性の実態と反省：浸潤範囲 b)胃癌診断の困難性の実態と反省：良性・悪 性 2. 胃癌の発生と発育・進展
22	1974.(昭 49) 2. 9.	有賀槐三 (日本大学内科)	東京都	1. 胃集検による発見胃癌 2. 胃癌の化学療法
23	1974.(昭 49) 8. 3.	藤森正雄 (群馬大学第 2 外科)	前橋市	1. 胃ポリープの癌化について 2. pm 癌、ss 癌の予後などについて

回	年月日	当番世話人	開催地	主題
24	1975.(昭 50) 2. 1.	間島 進 (京都府立医科大学 第 1 外科)	京都市	1. 胃癌とリンパ系の動態 2. 胃癌切除例における Adjuvant chemotherapy の効果 a)投与方法についての問題点 b)遠隔成績の検討
25	1975.(昭 50) 8. 4.	望月孝規 (東京都立駒込病院 病理)	東京都	1. 慢性胃潰瘍の癌化 2. 噴門部癌手術の問題点
26	1976.(昭 51) 1.31.	大森幸夫 (千葉県がんセンタ ー消化器科)	千葉市	1. 慢性胃炎と胃癌との関連(病理、診断) 2. 胃癌の他臓器合併切除の問題点
27	1976.(昭 51) 7. 8.	小山義之 (国立病院医療セン ター内科)	東京都	1. 術後 5 年以上経過後再発した症例の検討 2. 進行胃癌の化学療法(効果の評価を中心に)
28	1977.(昭 52) 1.29.	榊原 宣 (東京女子医科大学 消化器病センター)	東京都	胃癌占拠部位別特徴 1. 診断: a)X 線、b)内視鏡 2. 病理: a)形態、b)占拠部位と進展 3. 手術: a)切除範囲、b)リンパ節郭清の範囲
29	1977.(昭 52) 7. 1.	笹野伸昭 (東北大学病理)	仙台市	1. スキルスの病理 2. 早期胃癌類似進行癌 3. 特別講演、ハワイ日系人の胃癌(G.N. Stemmermann, MD、ハワイ)
30	1978.(昭 53) 1.28. 第 30 回記念	西 満正 (鹿児島大学第 1 外 科)	指宿市	食道・胃腸界領域の胃癌 1. 診断 2. 病理 3. 治療 特別講演 第 30 回記念 ○胃癌治療の歴史と展望 梶谷 鏝(癌研究会附属病院) ○胃癌研究の歴史と展望 村上忠重(東京医科歯科大学外科) 特別発言 陣内伝之助(近畿大学外科)
31	1978.(昭 53) 8.25.	和田武雄 (札幌医科大学第 1 内 科)	札幌市	早期胃癌 1.胃集検による発見率・その実態 2.局所的・全身的機能変化との関係 3.治療法と経過予後(1) 4.分類上の問題点 5.治療法と経過予後(2)
32	1979.(昭 54) 1.26.	草間 悟 (東京大学第 1 外科)	東京都	1. Natural history からみた早期胃癌と進行 胃癌 2. 深達度、リンパ節転移との関係からみた胃の 手術
33	1979.(昭 54) 7.13.	遠城寺宗知 (九州大学病理)	福岡市	1. 胃癌の術後 10 年生存率と術後 10 年以上生存 した胃癌例の特異点 2. 胃癌におけるリンパ球浸潤とその意義

回	年月日	当番世話人	開催地	主題
34	1980.(昭 55) 1.19.	服部孝雄 (広島大学原医研外科)	広島市	1. 胃癌と免疫 2. 単開腹(吻合、造瘻術などを含む)または再発後1年以上生存例の検討
35	1980.(昭 55) 7.26.	佐藤寿雄 (東北大学第1外科)	仙台市	1. 胃癌治療における尾側膵の処理 2. 異生検の問題点
36	1981.(昭 56) 1.30.	斎藤達雄 (癌研究会附属病院内科)	東京都	1. 治癒切除例における S-Factor の問題点 2. 癌化学療法による胃癌の形態学的変化、特に生存成績との関連
37	1981.(昭 56) 7. 3.	阿部令彦 (慶應大学外科)	東京都	1. 胃と他臓器の同時性および異時性重複癌(頻度、病理、特殊な組み合わせ、治療) 2. 実験胃癌、その意義と問題点(前癌病変、発癌方法、移植癌) 特別発言：梶谷 鑑
38	1982.(昭 57) 1.30.	城所 仂 (順天堂大学第1外科)	東京都	1. 残胃の癌の診断 2. 残胃の早期癌 3. 残胃の癌の治療と予後
39	1982.(昭 57) 7. 2.	崎田隆夫 (筑波大学内科)	東京都	1. 平坦型早期癌発見の現状 2. 胃癌免疫療法の臨床
40	1983.(昭 58) 1.26.	毛受松涛 (東京医科歯科大学第1外科)	東京都	1. 特殊型胃癌 2. 大弯型胃癌(診断・病理・治療と予後)
41	1983.(昭 58) 7. 2.	山田栄吉 (愛知県がんセンター)	名古屋市	Pm 胃癌(診断・病理・治療と予後)
42	1984.(昭 59) 1.25.	田中 昇 (千葉県がんセンター研究所)	千葉県	1. 胃生検組織診断分類 GroupIII : (病理と臨床) 2. 進展に応じた胃癌手術の合理化は可能であるか
43	1984.(昭 59) 7. 5.	中村卓次 (群馬大学第1外科)	前橋市	1. 噴門癌(C 癌のうち噴門近傍に発生した癌)(形態学的特徴・診断・治療) 2. 胃ポリープ(癌化、良性悪性境界領域病変) 3. 示説(稀な症例)
44	1985.(昭 60) 1.25.	岡島邦雄 (大阪医科大学一般消化器外科)	大阪市	1. 癌型の肉眼分類 5 型の定義、診断、病理、予後 2. 胃癌の再発：再発所見よりみた初回治療の反省及びその治療
45	1985.(昭 60) 6.28.	白壁彦夫 (順天堂大学消化器内科)	東京都	1. IIb 型の実態(純粋 IIb と類似 IIb に分けて扱う)と純粋 IIb 型の症例呈示 2. 肉眼的多臓器浸潤(S <sub>3</sub> )
46	1986.(昭 61) 1.24.	三輪 潔 (群馬県立がんセンター東毛病院外科)	東京都	StageIVの亜分類は必要か(診断、外科、内科、放射線治療、病理の立場から)
会長：西 満正(第 47 回～第 69 回)				

回	年月日	当番世話人	開催地	主題
47	1986.(昭 61) 7. 4.	古賀成昌 (鳥取大学第 1 外科)	米子市	胃癌の悪性度(臨床病理、生化学・腫瘍マーカー、細胞核の DNA 量)
48	1987.(昭 62) 1.23.	春日井達造 (愛知県がんセンター)	名古屋市	1. 胃腫瘍の内視鏡的治療とその遠隔成績 2. スキルス胃癌の病理、診断、治療及び遠隔成績とこれらの問題点
49	1987.(昭 62) 6.26.	山本政勝 (関西医科大学外科)	大阪市	1. S-factor 陽性例、その診断、病理、治療、遠隔成績 2. 胃癌の年齢別特徴(全年齢、若年者、高齢者)
50	1988.(昭 63) 1.28.~30. 第 50 回記念	市川平三郎 (国立がんセンター)	東京都	胃癌を克服するために(基礎的内容、診断、外科的治療、非外科的治療) 特別イベント：a)胃癌研究会の歴史 — 諸先輩に聞く — b)シネカンファレンス
51	1988.(昭 63) 6.24.	安井 昭 (昭和大学豊洲病院外科)	東京都	1. 胃漿膜・S(+)(ss γ sei)における癌のひろがりの検討 2. Hauser 型潰瘍癌の拡大解釈と悪性サイクル 特別講演：望月孝規 胃潰瘍癌の考え方の歴史的発展とその問題点
52	1989.(平 1) 2.10.	赤木正信 (熊本大学第 2 外科)	熊本市	1. 胃癌組織の形態と機能の関連 2. 胃癌類似病変の基礎と臨床
53	1989.(平 1) 6.23.	鍋谷欣市 (杏林大学第 2 外科)	東京都	1. 早期胃癌治療後再発例の検討 2. 胃噴門癌の食道進展
54	1990.(平 2) 1.26.	岡部治弥 (北里大学内科)	横浜市	1. 切除不能例の治療と予後 2. 術前 Stage 診断の進歩
55	1990.(平 2) 6.29.	武藤輝一 (新潟大学第 1 外科)	新潟市	1. ss 胃癌の病理、治療、予後 2. 再発胃癌の治療
56	1991.(平 3) 1.25.	岩永 剛 (大阪府立成人病センター外科)	大阪市	1. 胃癌の経過観察例 2. 胃癌に関する斬新なる研究と問題点
57	1991.(平 3) 7. 5.	広田映五 (国立がんセンター研究所病理)	東京都	低分化腺癌の基礎と臨床
58	1992.(平 4) 1.31.	中里博昭 (愛知県がんセンター)	名古屋市	1. 切除断端の問題点 2. 胃癌の薬物療法
59	1992.(平 4) 7.24.	鈴木博孝 (東京女子医科大学消化器外科)	東京都	胃癌進行度別の外科的治療と診断
60	1993.(平 5) 1.22.	大柴三郎 (大阪医科大学第 2 内科)	大阪市	1. 胃癌の外科的縮小手術 2. 早期胃癌の内視鏡的治療

回	年月日	当番世話人	開催地	主題
61	1993.(平 5) 7. 2.	掛川暉夫 (久留米大学第 1 外科)	久留米市	1. 境界部領域胃癌の臨床病理—胃・十二指腸境界部および食道・胃境界部胃癌の臨床病理— 2. 腫瘍播種について—病理(病態)・診断・治療と予後—
62	1994.(平 6) 1.21.	森 武貞 (大阪大学第 2 外科)	大阪市	血行転移(基礎・臨床) 特別発言: Jin-Pok Kim (Seoul National University Hospital, Korea)
63	1994.(平 6) 7.15.	喜納 勇 (浜松医科大学第 1 病理)	浜松市	1. 胃癌の家族内集積 2. 胃粘膜内癌(m 癌)と転移
64	1995.(平 7) 3.29.	高橋俊雄 (京都府立医科大学第 1 外科)	京都市	胃癌の進展とリンパ系
65	1995.(平 7) 6.30.	遠藤光夫 (東京医科歯科大学第 1 外科)	東京都	1. sm 胃癌の臨床病理 1) sm 浸潤の亜分類 2)病理・診断 3)リンパ節転移、再発 2. 占拠部位からみた胃癌の術後再建法
66	1996.(平 8) 1.19.	栗原 稔 (昭和大学附属豊洲病院消化器科)	東京都	びまん浸潤性胃癌(スキルス)、その細胞生物学、病理、診断、治療(外科・内科・化学療法)
67	1996.(平 8) 7.26.	藤巻雅夫 (富山医科薬科大学第 2 外科)	富山市	1. 早期胃癌の再発例(分子生物学、臨床、病理、再発死亡例) 2. 上部胃癌のすべて(診断、臨床、病理、手術、手術と予後)
68	1997.(平 9) 1.30～31.	磯野可一 (千葉大学第 2 外科)	千葉市	1. 胃癌研究会・大腸癌研究会合同シンポジウム「臓器特異性からみた胃癌・大腸癌の諸問題」(発生と転移、疫学的特徴、治療と予後) 2. StageIV進行胃癌の長期生存例の検討(肉眼所見、病理所見、宿主要因、転移、補助的化学療法、免疫化療、術式、等) 3. 胃癌に関する自由演題 特別講演: J.R.Siewert, MD,FACS “The Problems of Gastric and Colorectal Cancer Focusing on the Organ Peculiarities”
69	1997.(平 9) 6.27. 最終回 胃癌研究会	中村恭一 (東京医科歯科大学病理)	東京都	1. 胃癌取扱い規約(改訂第 12 版)の検討 2. 胃悪性リンパ腫とその類縁疾患の臨床病理 3. 胃癌研究会記念フォーラム: ○特別講演: 胃癌研究会の歩んだ道 西 満正(癌研究会附属病院)、 菅野晴夫(癌研究会癌研究所) ○ワークショップ: 胃癌学会の理念を求めて ○特別発言: 長与建夫(愛知県がんセンター)